

わたしの「みち」

いつまでも自分の心に残る「みち」の風景を作ろう…という題材です。参考例として教科書に掲載されていた東山魁夷作「道」を模写して、自分の「みち」を作ってみようと制作が始まりました。



←左の写真が参考にした「道」(東山魁夷作)です。原画から起こした点図で構図の確認をしました。板におおまかな輪郭線を描き、その線を頼りにしながら、作品を仕上げていきました。

水苔やココヤシの繊維、盆栽に使う砂利など、触感の異なる様々な素材を用意しました。

水苔や繊維は絵の具でエメラルドグリーンに塗って草を、砂利は道の表現の表現に使いました。



全ての材料を用意したら、板にボンドを塗って、それぞれの素材を貼り付けていきます。

左の写真は、制作の終盤、仕上げの砂利をしいて、道を表現しようとしているところです。

下書きに沿って紙粘土を貼るのが難しかったです。水苔は固まっているとスポンジのような感触でした。水苔を小さく裂くのが大変でした。ココヤシの繊維に色がつかないと思っていたけど、綺麗に色がついて嬉しかったです。砂利をまくと、本当の道のようにすごいなと思いました。

横山 莉世